



月2回刊=号外  
2024年2月29日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

# 2024春闘方針 確立に向け活発な討論を

3月22日の県職連合第35回・県職労第131回臨時大会において、2024春闘方針を確立し、県職労は3月7日に人事課総括課長交渉を行う。官民間わす、物価高騰により実質賃金はマイナスで推移している。民間春闘と連動し、働く者全体の賃金・労働条件の改善をめざそう。

## 【春闘への結集の意義】

春闘は、毎年3月から4月にかけて、民間の労働組合が産業別にまとまり、集中して賃金等の労働条件の改善交渉を行うものである。企業によっては、いわゆる「定期昇給」がなく、春闘が唯一の賃上げの機会となっている例も少なくない。公務員労働者も、この時期に一緒になって労働条件

の改善に向けた要求、交渉集会等の行動を重ね、労働者全体の賃金の底上げを図ること、8月の人事院勧告、10月の県人事委員会勧告への反映という形でその後の公務員の賃金に大きな影響を及ぼすこととなる。さらには、地域の労働者の中には、公務員賃金に準拠した職場で働いている例もあり、そうした労働者の

賃上げを通じて、地域全体の生活環境の底上げにもつながっていく。また、春闘は、賃金のみならず、職場における働き方の改善や、人員確保、ジェンダー平等の推進、ハラ・セクハラ対策等、多岐にわたる課題の改善について経営者側(当局)に要求する機会としての意義も大きい、といえる。

として解消されていないこと等を背景に、全ての組合が賃上げに取り組むことを基本に据え、月例賃金の引上げにこだわる。有期・短時間・契約等労働者の賃上げ(時給)は、昨年、フルタイム組合員の引上げ率を上回り、時給の把握可能な2006年以降最大の賃上げとなったことから、引き続き雇用形態環

格差の是正に取り組む。男女間賃金格差については、状況把握と情報公表の義務化により取り組みが進んでおり、さらに前進を図る。(2月7日開催の第48回地方委員会決定)

## 【連合岩手の春闘方針】

本県は消費者物価指数が全国平均を上回る一方、全国と比較して賃金が低く、労働時間が長いことが依然

## 【県職労の春闘方針案】

1 県職労賃金要求額  
春闘アンケート結果を踏まえるとともに、自治労県本部全体の産別闘争の位置

- ① 東北最下位の初任給格付改善
- ② 昇給・昇格要件改善
- ③ 55歳昇給抑制撤廃
- ④ 中途採用者前歴換算改善
- ⑤ 専門職の人材確保に向け処遇改善
- ⑥ 自己負担解消に向け通勤、住居、単身赴任手当改善
- ⑦ 暫定再任用職員の賃金・手当改善
- ⑧ 会計年度任用職員の再度任用の上限撤廃
- ⑨ 子等の看護休暇の日数の拡充
- ⑩ 職場の人員増、業務量に見合った人員配置
- ⑪ 公舎の住環境の充実

## 2024年度 県職労役員選挙 全員が信任 新体制を確立

県職労2024年度役員選挙は2月15日投票、22日に開票が行われ、その結果、立候補者全員が信任され新体制が決まった。

### 中央執行委員長(再)



小田嶋 智昭  
(北上支部・北上土木センター分会)

### 書記長(新)



藤村 秀樹  
(県庁支部・都市計画課分会)

### 書記次長(新)



高谷 琢人  
(県庁支部・管財課分会)

### 中央執行委員(新)

長には高谷琢人さんが新たに就任。中央執行委員に福士誠さん、長澤萌基さん、久保寿昌さん、樋口晃大さん、石井望夢さんが新たに就任することとなった。2024年度も私たちの賃金・労働条件、職場環境改善のために、県職労は組

### 福士 誠



(盛岡支部・産業技術短期大学校分会)

### 長澤 萌基



(花巻支部・花巻県税センター分会)

### 久保 寿昌



(県庁支部・ふるさと振興企画室分会)

### 樋口 晃大



(県庁支部・下水環境課分会)

### 石井 望夢



(一関支部・一関農村整備センター分会)

## 自治労岩手県本部第59回臨時大会 及川隆浩さん(県職労出身)が 新委員長に就任

2月23日、自治労岩手県本部第59回臨時大会が盛岡市で開催された。大会では10月25日に連合岩手会長に就任以降、自治労県本部執行委員長を兼任していた伊藤裕一さんが3月末をもって県本部委員長を辞任することによる補充選挙が行われ、県職労出身の及川隆浩



▲県本部執行委員長に就任する及川隆浩さん

市で開催された。大会では10月25日に連合岩手会長に就任以降、自治労県本部執行委員長を兼任していた伊藤裕一さんが3月末をもって県本部委員長を辞任することによる補充選挙が行われ、県職労出身の及川隆浩

書記長が執行委員長に信任された。及川さんは、これまでの運動経験をふり返り、5年前、書記長に就任したときは違い、何ができたかという思いでいっぱい。委員長として、皆さんと共に頑張っていきたい」とあいさつし、自治労県本部運動の先頭に立つて頑張る決意を表明した。今後の活躍に期待するとともに県職労も県本部運動を全力で支えていく。

なお、及川さんの後任の書記長には、花巻市職労出身の佐藤秀作さんが信任された。

## 住所変更は、支部書記局に御一報を!

「県職労総合共済」「自治労共済」等の手続きが必要となりますので、必ず御連絡をお願いします。定期人事異動に伴う住所変更の場合は、人事異動後の支部書記局に御連絡をお願いします。

## 2024年3月末退職予定のみなさまへ

支部書記局への連絡がお済みでない方は、支部書記局に御連絡をお願いします!

## 第五世代

1枚300円から数億円が当たる夢のような宝くじ。買わなければ当たらないし、買ってもそんな高額当選なんて当たらない。と思

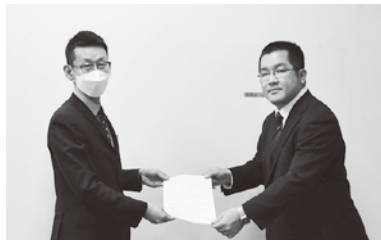
いつか誰か一度は買ったことがあるだろう。3億円、10億円当たったら何をしようか。気持ちを高ぶらせながら、売り場「当選金額出ました!」の列に並ぶ▼年末ジャンボ1000万円分買った、3億円当たった人の末路など様々動画も配信されているうえ、年間総額30億円が未換金のまま時効を迎えている現実もあり、不思議に思う▼現実離れた生活というのも想像もつかないが、人生が狂わない程度の当選額でいいの一度は夢を見させてほしい▼いつからだろう、スーパーでは割引商品から先に巡り、戻ってまた巡りしている生活に慣れてしまっている自分がある。今日より明日が楽しい日になるよう願う日々▼将来、何不自由なく、贅沢に暮らすために一攫千金を求めて宝くじにすがるのはよいが、現実には立ちかえり、贅沢まで求めず生活し、次の世代へとつなげる社会を求め、賃金ベースアップを追求することも必要だろう。

# 青婦部の思い 職場実態 を当局へ

## 人事課給与人事担当課長へ要求書提出

2月6日(火) 青年婦人部は人事課に知事あて要求書を提出した。引き続き各支部青婦部役員参加のもと、意見交換を実施し、青年・女性職員が感じている職場課題について人事課へ伝えたい。(青婦部参加者9人)。

「子等の看護休暇」について青婦部から、「子ども1人当たり最低10日を確保



▲要求書を手渡す鞆形青婦部長(右)



▲交渉に臨む青婦交渉団(右のQRコードは青婦部独自要求書)

当や制度は他県や国の措置状況が踏まえて、その均衡も見ながら設定するというのが地方公務員法上の原則になっており、他とのバランスをみながら日数についても設定している実情もある。岩手県よりも多く付与している自治体は全国でも6府県だけあり、子ども1人につき多いところで新潟

県で8日、京都府で7日と岩手より日数が少し多くなっている。引き続き職員の皆さんの実態を踏まえて、休暇制度の拡充については他県の実態も踏まえて研究したい。また、様々な事情を持つ職員への配慮においては、休暇制度の拡充だけでは限界があり、フレックスタイムや在宅勤務といった



▲協議会参加者で記念撮影



▲第2分科会のようす

▲第1分科会のようす

## 各分科会で情報共有し、課題を確認

### 自治労都道府県税務職員連絡協議会を開催

17年ぶりの岩手県開催となった第131回自治労都道府県税務職員連絡協議会が盛岡市繁の「ホテル大観」で17府県が参加し2月2日から3日にかけて開かれた。

総務省都道府県税課の理事官を招いての記念講演

「令和6年度税制改正等について」を皮切りに意見交換をした。

第1分科会では「賃金・労働条件や人員問題などの情報・意見交換」。第2分科会では「税収確保対策や業務問題などの情報・意見交換」を行った。

第2分科会では、税務職場の人員・人事関連と、電子化・電算関連の業務問題を中心に熱心な意見交換が行われた。人員・人事問題については、退職等により税務経験豊富なベテラン職員が減少すること、30代40代の中堅層職員が不足していること、各県の様々な人事異動サイクルにより若年層が2〜3年で他部に異動してしまうこと、そのため指導へのモチベーションが低下していること等の理由から業務スキル・ノウハウの継承に困っているとの報告が多く挙げられ、職員の

意見交換を行った。

第2分科会では、税務職場の人員・人事関連と、電子化・電算関連の業務問題を中心に熱心な意見交換が行われた。人員・人事問題については、退職等により税務経験豊富なベテラン職員が減少すること、30代40代の中堅層職員が不足していること、各県の様々な人事異動サイクルにより若年層が2〜3年で他部に異動してしまうこと、そのため指導へのモチベーションが低下していること等の理由から業務スキル・ノウハウの継承に困っているとの報告が多く挙げられ、職員の

また、コールセンターなどの民間委託や自動取納機械の導入状況の確認、電算システム改修についての情報交換を行った。

## 野中やすし

### 議会報告

#### 3月定例会に向けて



▲2月16日に行われた岩手県公会堂前の街宣の様子

日頃より、私の議会活動に対し、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

初めに、正月元旦に発生しました能登半島地震の犠牲者のご冥福と、被災者の皆様にお見舞いを心より申し上げます。

今号では、私が3月定例会の一般質問で取上げる自

民党「ウラ金」問題について述べます。

自民党の安倍派をはじめとする派閥が主催する「政治資金パーティー」の入場券の売り上げ代金の一部が「ウラ金」として所属議員に支払われていた事実が明らかとなり、国会で野党が追及しています。

政治資金規正法では、議員個人が「ウラ金」を受け取ることを禁止しています。いわば「犯罪」です。

さらに、「ウラ金」を受け取った議員には、「脱税」

の疑いがあります。

私は、この「戦後最大の疑獄事件」ともいえるウラ金問題について、今議会において、内館市長に所見を質す予定です。あわせて、国会の空転が続き新年度予算の成立が遅れている結果、地方財政への影響について所見を質す予定です。

「金権腐敗」の自民党にこれ以上政権を任せてはなりません。私は、次の解散総選挙で、ぜひとも「政権交代」を実現するため全力で取り組む決意です。

## 全国青年団結集会に参加して気付けたこと

県南広域振興局 保健福祉環境部 岡本 瑞貴

2月3日から2月4日までの2日間、長野県千曲市に全国から230人が集結し、民間、公務員など職種が違う仲間と交流、学習、そして春闘勝利への団結を高めることができた。



▲1日目の全国青年団結集会のようす

今回、「生活・職場実態点検手帳集約表」に、職場の実態や賃金及び1カ月の支出状況等を記入し、分散交流会で職場の苦悩や異常な勤務体制、上がらない賃金による影響をより深く共



▲分散会ではいろいろな意見を出し合った

有、学習できたと思う。分散会でできた意見は、公務員も民間企業も賃金の低さや、サービス残業問題など共通するものが多かった。また、ガソリン価格の高騰と通勤手当支給額が見合っていない、ローンや奨学金

の返済に、物価上昇が重なり貯蓄ができない等の問題も上がった。今後、より働きやすくするためには、組合加入率を上げ、団結力を高めることが重要だと再認識した。

県職員として勤務して5

じちろう  
**マイカー共済**  
自動車総合補償共済

こくみん共済 NEWS  
5121A088

2021年11月更新契約より

自治労共済 生協組合員なら **家族の車も 団体割引32.5%**

※ 団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。

掛金体系変更による職域掛金の廃止に伴い割引率を変更  
※ 団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

自治労共済 推進本部  
全日本自治労職共済生活協同組合

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

「こくみん共済」は営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

主たる被共済者になれる方

- 1 組合員本人
- 2 組合員の配偶者
- 3 組合員の同居の親族\*
- 4 組合員の配偶者の同居の親族\*

\* 別居の未婚の子も含まれます。

現在加入している保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、契約を引き受けできない場合があります。